



IFA住宅設計室通信

innovation.future.architects

料金後納

ゆうメール

枚方を中心に、「建築家と建てる家づくり」を提案する IFA 住宅設計室。次世代へ受け継がれる家づくりを目指して活動を行っています。そんな私たちの目線で、家や暮らしにまつわる様々な情報や、スタッフの日常を綴ります。家づくりへの想いをお客様と共有できることを願って。



vol 92

Jan. 2025 新年号

contents

WORKS

2024年総集編 & 香里ヶ丘の家 他2邸

2025年完成予定!

A-house

イベントREPORT

IFAお客様感謝祭

建築家エッセイ

東洋文庫ミュージアム 他

A HAPPY NEW YEAR

旧年中は大変お世話になりました 本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

新年の抱負



集合写真撮影: 2024年11月 IFAお客様感謝祭当日の朝 IFAスタッフとイベント運営に協力してくださった有志のお客様、家づくりの現場を支える協力業者・職人、スタッフ家族。建築家をはじめ写真に写っていないたくさんの方の協力を得て、大盛況の中、お客様感謝祭を終えることができました! 詳しくは裏面の社長コラム、中面の服部の記事をご覧ください。

おかげさまで2024年も枚方・交野・寝屋川を中心に、新築・リノベーション共にお客様の大切な家づくりに携わらせていただきました。また、これから家づくりをはじめると多くのご家族にもお会いすることができました。たくさんのご縁をいただきましたことに感謝いたします。すでにIFAで家づくりをしていただいた皆様はもちろん、これからIFAで家づくりをはじめていただく皆様にも喜んでいただけるIFAを目指して、2025年もスタッフ一同頑張っておりますので、一層のお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

IFAの新年は、このイベントから始まります!

天の川とんどまつり

2025年1月12日(日)

場所: 枚方モール前 天津橋下の河川敷

親子で楽しめる催し物あり! 詳細は別紙案内をご覧ください!

第35回 枚方・交野ヶ原

WORKS -2024年総集編-

2024年も多くのお客様の家づくりに携わせていただきました。一生に一度かもしれない大切な家づくりをお任せいただきましたこと、心より感謝を申し上げます。どのお住まいもお客様の暮らしへの想いが詰まったものばかりです。一部ではございますが、完成したお住まいの写真と担当した建築家の設計ポイントをご紹介いたします。(現場の進捗により撮影が間に合わず、掲載ができなかったお住まいもごさい。何卒ご容赦ください。)



香里ヶ丘の家

Case | 土地を探して、新築注文住宅を建てる
Architect・吉松 静香



前面道路より、スナフキンの帽子のような大屋根を望む。

この敷地の周辺には、立派な石垣と植栽によって囲われた家々が多く建ち並んでいます。プライバシーを守るべく、閉鎖的になりがちな住宅街の中で、施主からは明るく開放感のある住環境が求められました。いかにして外に開かれた生活の風情を作り出すか、そこに焦点を当てて計画を進めました。

建蔽率が許す最大限の屋根を確保し、スナフキンの帽子のような形状をした大屋根を計画。この大屋根は家全体をおおらかに包み込み、天窓から上空の柔らかな光を室内に取り入れています。また軒下空間を残すことで内外をシームレスにつなぎ、外壁には周辺環境に呼応した開口を設け、周辺の緑を借景として取り入れました。室内はキッチンを中心とした回遊動線を確保することで空間が連続し、行き止まりのない平面的な広がりをつくりました。キッチンの上部にあるサンルームは天窓から外の光を享受する中庭のような存在となり、家の中にいながら外を感じられる、のびやかな環境をつくりだしています。



大開口と天窓から燦爛と光が降り注ぐLDK。

洗出し仕上げのエントランス。大胆な開口とデザインされた造作建具が家族や来客を迎えます。



二階のサンルーム。

上空の柔らかな光を室内に取り入れる天窓を見上げる。

終の棲家

Case | 中古マンションを探して、リノベーションする
Architect・藤森 大作



キッチンよりリビングダイニングを望む。

専有面積83.28㎡のマンションリノベーションです。比較的築浅の物件でしたが、購入を決意されたご夫婦は、老後に備えたリノベーションを依頼してくださいました。お二人のご要望は、「将来車イス生活も想定して、玄関は大きくゆたかり」と「トイレは広めに」「仕事スペースを兼ねた寝室」「大量の本を収納できる壁面本棚」「将来浴槽に浸かることが困難になる懸念から、浴室に海外製のスチームサウナ」「リビングは大きく20帖以上、上質なサウンドを楽しむためのスピーカーシステムの導入」「キッチンは二列式で動線をスムーズに」「全室床暖房、二重サッシなど設備面の充実を図る」「愛犬と暮らす為の設えと素材選定」。上記の要望を踏まえつつ、定められた枠組みの中で空間のプロポーショナルを整えていきました。引越し時にお伺いすると長年使われていた黒御影石のテーブルやYチェアが置かれとてもいい雰囲気。こだわりの音に包まれ、美味しい料理とかわいい愛犬、たまにサウナ。豊かな暮らしを楽しんでいただけそうです。

香里園の二世帯住宅

Case | 住み慣れた家をリノベーションする
Architect・藤森 大作

20年前に大掛かりなリフォームをされている鉄骨造の二世帯住宅。家族環境の変化を機に、2度目のリノベーションとなりました。今回の計画ではあまり上手く活用できていないルーフテラスをリビングとつなげ、大開口を開け放つとリビングと一体的に利用できるアウトドアスペースを確保。テラスの屋根は格子天井とし、陽射しをカットしつつ雰囲気の良い半屋外空間となっています。LDKから鉄骨階段の先にはご主人こだわりの空間。DJブースに大量の漫画などなど、楽しさ溢れるロフトスペースです。内装仕上げはウォールナットの床材、板張り天井、オーク材を使った造作家具などで全体的にトーンを落とし、落ち着きのある空間となりました。



工事中のテラス。

ダイニングを望む。鉄骨階段の先にはご主人の趣味室が。

こだわりの照明やインテリアが空間を彩ります。

勾配天井が印象的なダイニング。